

31138	<b>母性看護学Ⅰ（リプロダクティブヘルスケア） a、b</b> Maternal Nursing Ⅰ (Reproductive Health Care)		2年次～ 前期 1単位		
担当者	小松 美穂子／坂間 伊津美／渋谷 えみ	履修可能学科	N必		
		関連資格	看護（N）		
サブタイトル	女性の生涯を通じて「性と生殖に関する健康」を支えるための看護を学ぶ。				
授業内容 ・ ねらい	<p>リプロダクティブヘルス（reproductive health）は、「性と生殖に関する健康」を意味している。妊娠・出産の身体機能を持ち、また性感染症などのリスクを負いやすい女性のリプロダクティブヘルスは特に重要視すべきものであり、その保持、促進のための支援が必要である。</p> <p>本科目では、母性看護学を理解する上で基盤となる諸概念や、性と生殖のメカニズムについて学び、女性の生涯を通じた健康支援という視点からリプロダクティブヘルスの問題（月経異常、思春期の妊娠、性感染症、不妊、性暴力、子宮頸がん、更年期など）と看護について学習する。また、リプロダクティブヘルスに関連する倫理や社会動向について学習する。この授業を履修することで、1）各ライフステージにおけるリプロダクティブヘルスの現状と課題を理解する、2）性と生殖のメカニズムを理解する、3）リプロダクティブヘルスケアのあり方を考察するとともに、母性看護学の対象理解を深めることを目標としている。</p>				
授業計画	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 母性看護学の概念と対象</li> <li>2. 母性、父性の発達と役割機能</li> <li>3. セクシュアリティ</li> <li>4. 女性生殖器の構造、性周期</li> <li>5. 生殖のメカニズム</li> <li>6. リプロダクティブヘルスとは</li> <li>7. リプロダクティブヘルスと看護グループワーク(1)</li> <li>8. リプロダクティブヘルスと看護グループワーク(2)</li> </ol> </td> <td style="vertical-align: top; padding-left: 20px;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>9. リプロダクティブヘルスと看護グループワーク(3)</li> <li>10. リプロダクティブヘルスと看護グループワーク(4)</li> <li>11. リプロダクティブヘルスと看護グループワーク(5)</li> <li>12. リプロダクティブヘルスと看護グループワーク(6)</li> <li>13. 不妊と向きあう女性への看護</li> <li>14. 母性看護と倫理</li> <li>15. 母子保健の動向、法律・制度</li> </ol> </td> </tr> </table>			<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 母性看護学の概念と対象</li> <li>2. 母性、父性の発達と役割機能</li> <li>3. セクシュアリティ</li> <li>4. 女性生殖器の構造、性周期</li> <li>5. 生殖のメカニズム</li> <li>6. リプロダクティブヘルスとは</li> <li>7. リプロダクティブヘルスと看護グループワーク(1)</li> <li>8. リプロダクティブヘルスと看護グループワーク(2)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>9. リプロダクティブヘルスと看護グループワーク(3)</li> <li>10. リプロダクティブヘルスと看護グループワーク(4)</li> <li>11. リプロダクティブヘルスと看護グループワーク(5)</li> <li>12. リプロダクティブヘルスと看護グループワーク(6)</li> <li>13. 不妊と向きあう女性への看護</li> <li>14. 母性看護と倫理</li> <li>15. 母子保健の動向、法律・制度</li> </ol>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 母性看護学の概念と対象</li> <li>2. 母性、父性の発達と役割機能</li> <li>3. セクシュアリティ</li> <li>4. 女性生殖器の構造、性周期</li> <li>5. 生殖のメカニズム</li> <li>6. リプロダクティブヘルスとは</li> <li>7. リプロダクティブヘルスと看護グループワーク(1)</li> <li>8. リプロダクティブヘルスと看護グループワーク(2)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>9. リプロダクティブヘルスと看護グループワーク(3)</li> <li>10. リプロダクティブヘルスと看護グループワーク(4)</li> <li>11. リプロダクティブヘルスと看護グループワーク(5)</li> <li>12. リプロダクティブヘルスと看護グループワーク(6)</li> <li>13. 不妊と向きあう女性への看護</li> <li>14. 母性看護と倫理</li> <li>15. 母子保健の動向、法律・制度</li> </ol>				
教科書 参考書	教）『系統看護学講座専門24 母性看護学概論』（医学書院） 参）適宜紹介				
評価方法	試験、講義や演習への積極的態度、レポートなどを総合的に評価する。				
事前準備学習 履修条件等	「ヘルスアセスメント・アドバンス」の内容と関連させながら学習してください。また、新聞やニュースを見るように努め、女性の健康問題の現状について日々学習しておいてください。				